

学校の教育目標「心豊かにたくましく生きる生徒の育成」を目指して努力していきます。

小松中学校だより とうげ

令和7年度 西条市立小松中学校 学校だより

令和8年2月5日発行 第10号

〒799-1102 西条市小松町南川甲208番地

ホームページアドレス：<http://komatsu-j.esnet.ed.jp/>



令和7年度 2月行事予定

日	曜	行 事	給食
1	日		-
2	月	少年の日・2年生坊ちゃん劇場(終日)	1,3年0,2年X
3	火		○
4	水	私立高校入試	1,2年0,3年X
5	木	私立高校入試、SC来校	1,2年0,3年X
6	金	学年末テスト発表、3年生県立懇談会(午後)	○
7	土		-
8	日		-
9	月	3年生県立懇談会(午後)	○
10	火		○
11	水	建国記念の日	-
12	木	SC来校	○
13	金		○
14	土		-
15	日		-
16	月	学習支援タイム	○
17	火	学習支援タイム、新入生物品販売	○
18	水	学年末テスト1日目、3年生入試直前テスト	X
19	木	学年末テスト2日目、3年生入試直前テスト	X
20	金	学年末テスト3日目	○
21	土		-
22	日		-
23	月	天皇誕生日	-
24	火		○
25	水		○
26	木		○
27	金		○
28	土		-

【3月行事予定】

- 5日(木) 県立一般入試1日目
- 6日(金) 県立一般入試2日目
- 13日(金) 3年生を送る会
- 17日(火) 卒業証書授与式
- 20日(金) 春分の日
- 23日(月) 学期末懇談会(午後)
- 24日(火) 学期末懇談会(終日)
- 25日(水) 修了式
- 30日(月) 離任式

無心こそが理想!

校長 真木 浩司

今年度も残すところ、あと2か月となりました。学年のまとめと同時に、新しい学年への準備の時期でもあります。

さて2月は4年に一度開催される冬季オリンピックが行われます。開催地はミラノとコルティナ・ダンペッツオです。このオリンピックの出場を目指していたスキージャンプの葛西紀明選手についてです。葛西選手はこれまで8度五輪に出場をしています。冬季の世界最多記録で、現在53歳です。スキージャンプでは1kg体重を落とすと2m飛距離が伸びると言われています。競技の順位は飛距離とジャンプ・着地の美しさで決まります。軽い方が当然有利です。食事制限も過酷で基本は1日1.5食だそうです。朝はしっかり食べ、昼はスープ、夜は食べないそうです。空腹を感じたらコーヒーを飲んで紛らわします。普段食べる肉はもっぱらササミやヒレで、とんかつが好物ですが、口にできるのは年に3回だけです。食事制限に加え、毎日のランニングも欠かさず、長袖とタイツの上にサウナスーツを重ね日課の3.8kmを走り終えると2kg以上も体重が落ちるそうです。

体調管理と共に大切にしていることは、積極的に『脳を休ませる』ことで、1本のジャンプは5~6秒ほど、2本飛ぶので競技自体は十数秒で終わります。しかし、このわずかな十数秒のために、脳を酷使します。試合当日は、天候を見極め風の強さや向きを見て、その日のジャンプのイメージをする。勝利へのイメージが鮮明なほど、結果もいい。競技が始まったら、相手選手の得点を見て飛び方を変える。考えることが多くて2本飛ぶだけでヘトヘトになる。かつては試合後に「もっとこうすればよかった。」と考え込むことが多かったが、脳に負担がかかりすぎてしまうので、競技場を出た瞬間にジャンプのことは忘れるようにしている。以前は応援してくれる人々に喜んでもらいたいという思いが最大のモチベーションであったが、今は「完璧なジャンプを追い求めること」それが原動力で、無心で飛んで自分がどう着地したか全然わからないのに、なぜか上位に食い込んでいるジャンプ、それが理想だそうです。でも無心で飛べて上位に食い込んだことは今まで一度もないそうで、理想のジャンプを飛ばしたいという気持ちがあるからやめられないのだそうです。今回オリンピック出場はかなわなかったですが、4年後に向けて出場の意志を示している、葛西選手を応援していきたいと思います。

これから生徒のみなさんも夢に向かって努力を続けていくと思いますが、夢中になって取り組めるものを見つけてほしいと思います。充実した生活、人生につながっていくと思います。2月は短いですが、皆さんの健闘を祈っております。

「少年の日」を迎えて

2月2日、少年の日を迎えた2年生が、式典と記念行事を行いました。式典では、校長先生から少年の日のおこりと、責任を持つことについての話がありました。また、一人ずつ色紙に少年の日を迎えてこれから大事にしたい言葉と、その言葉に込められている想いについて書きました。最後には、各クラスで記念の写真を撮りました。

生徒の色紙より

『一生懸命』…物事に全力で尽くしたことがないので、部活動や勉強など一生懸命やりたい。そして、日頃から一生懸命という言葉を出しながらか生きていきたい。

『人生は60点で合格 今までの努力を認めればいい』…完璧主義で自分を追い込んでしまう人に向けてつくられた言葉で、残りの40点は「伸びしろ」や「今後の楽しみ」として合格点を60点にしている。今までの人生とこれからの人生に悔いが残らないように努力をしたい。

『百花繚乱』…花が咲くためには厳しい冬を越えないといけないうように、今は努力を積み重ねる時期なので、いつか大きな花を咲かせ、自分の才能を存分に発揮できるようになりたい。

式典後は記念行事として坊ちゃん劇場で「新 鶴姫伝説」の公演を観ました。ミュージカルが初めての生徒が多く、その迫りに圧倒されていました。また、午後からはポエムスイーツパークで工場見学を行いました。今回の観劇と工場見学は、地元愛媛の産業を知る貴重な体験となりました。

少年の日の式典や記念行事を通して、生徒たちが大人への第一歩を踏み出していることを感じられました。



小松中生の活躍が続いています

「全国中学生人権作文コンテスト」で、2年生の畑中さんが日常生活や学校での活動で人権について感じたことを作文にし、県大会で最優秀賞（松山地方法務局長賞）を受賞しました。さらに、法務省の中央審査においては、奨励賞を受賞しました。タイトルは、『受け入れること』です。ぜひ、ご一読ください。また、1月24日・25日に行われた愛媛県中学生バレーボール新人大会では、男子バレーボール部がフルセットの激戦を勝ち抜き、第3位となりました。その他にもたくさんの受賞報告が届いています。今後も小松中生の活躍を楽しみにしててください。



環境学習を行いました

1月26日(月) 1年生を対象に環境学習を行いました。

地域コーディネーターの方の主導のもと、愛媛大学の竹下先生と大学生の皆さんを講師に迎え、カカオ豆からチョコレートを作る体験を通して、製造の過程やフェアトレードについて学びました。

生徒たちは「楽しかった」「思ったより苦かった」などの感想を述べるとともに、原料を生産する人々の労働環境や適正な対価についても考えることができました。身近な食品と世界とのつながりを知り、環境や社会について主体的に考える貴重な学習となりました。ありがとうございました。



【スクールカウンセラー2月相談予定日】

5日(木) 11:00~15:00

12日(木) 11:00~15:00

26日(木) 11:00~15:00



1階「心の相談室」で行っています。保護者の方もご相談ください。